

予約採用説明会

2021年度 日本学生支援機構
貸与奨学金／給付奨学金 奨学生採用候補者の皆さん

島根リハビリテーション学院における 進学後の手続き

進学届入力期限 4月22日(木)23:00まで

手続きに必要な書類

※手元に用意して確認してください。

【進学先提出用】

① 採用候補者決定通知書 ② 採用候補者のしおり

この通知は、進学後、進学先の学校への提出が必要です。紛失しないよう大切に保管してください。

令和3年度大学等奨学生採用候補者決定通知

【進学先提出用】

登録番号	9999901-100-00999
学年等	3年
出席番号	A000001
氏名	学校用見本 (かくぎゆうひもん) 井上 真理子 (いのう まりこ)
*9999901	#5999999

令和2年11月17日

交付書類コード=F

※ コードにより交付される書類が異なります。封筒の裏面にてご確認ください。

独立行政法人日本学生支援機構

1. 選考結果

選考結果	給付奨学金	貸与奨学金	
		第一種奨学金	第二種奨学金
候補者決定	候補者決定	候補者決定	候補者決定
支援区分: 第Ⅰ区分			

2. 選考結果の内訳

要件確認等	国籍・在留資格等	給付奨学金	貸与奨学金	
			第一種奨学金	第二種奨学金
	○	○	○	○
	○	○	○	○
学業成績・学修意欲に関する基準	○	○	○	○
高卒後の期間・高卒認定合格(見込)	○	○	○	○
必要書類の提出	○	○	○	○

注1 「○」は各要件・資料等に該当、「×」は非該当(必要書類未提出等の理由による判定不可を含む)、「-」は申込時に希望していない(もしくは希望順位の高い種類が決定した)ため未判定であることを表します。

注2 「必要書類の提出」の「必要書類」とは、マイナンバー、「奨学金難認証」、マイナンバーを提出できない場合の「所得証明書」等又は国籍・在留資格等に関する証明書(該当者のみ)等です。

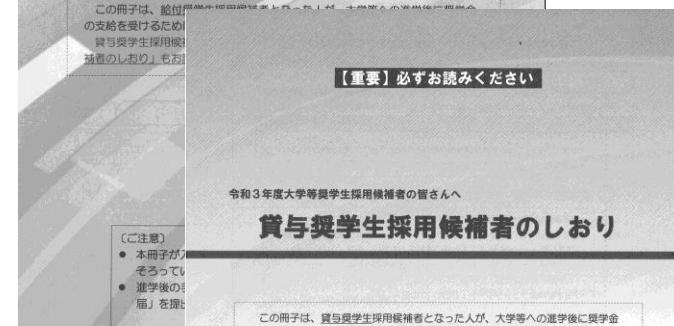
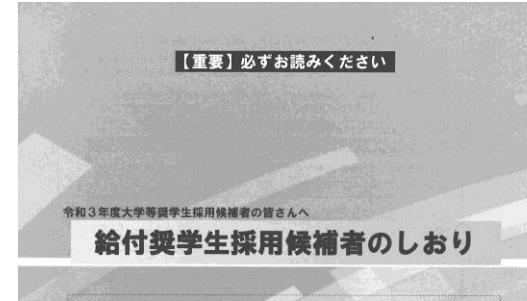
3. 採用候補者となった奨学金の内容

	第一種奨学金	第二種奨学金	入学時特別割賦貸与奨学金(有利子)
扶助額	日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込・不要		
扶助額	120,000円	一時金500,000円	
返還方法	定額返還方式		
保証人	人的保証		
見直し方式	利回り見直し方式		
就学者(国公私)及び通学形態(自宅通学・自宅			

て選択肢としてあります。(進学届)の提出には、「採用候補者のしおり」を確認してください。
書(自宅通学・自宅外通学)により定まる金額(扶助額の「利回り条件」欄に「最高利回り利用:不可」と印
となります)また、給付奨学金を併せて利用する

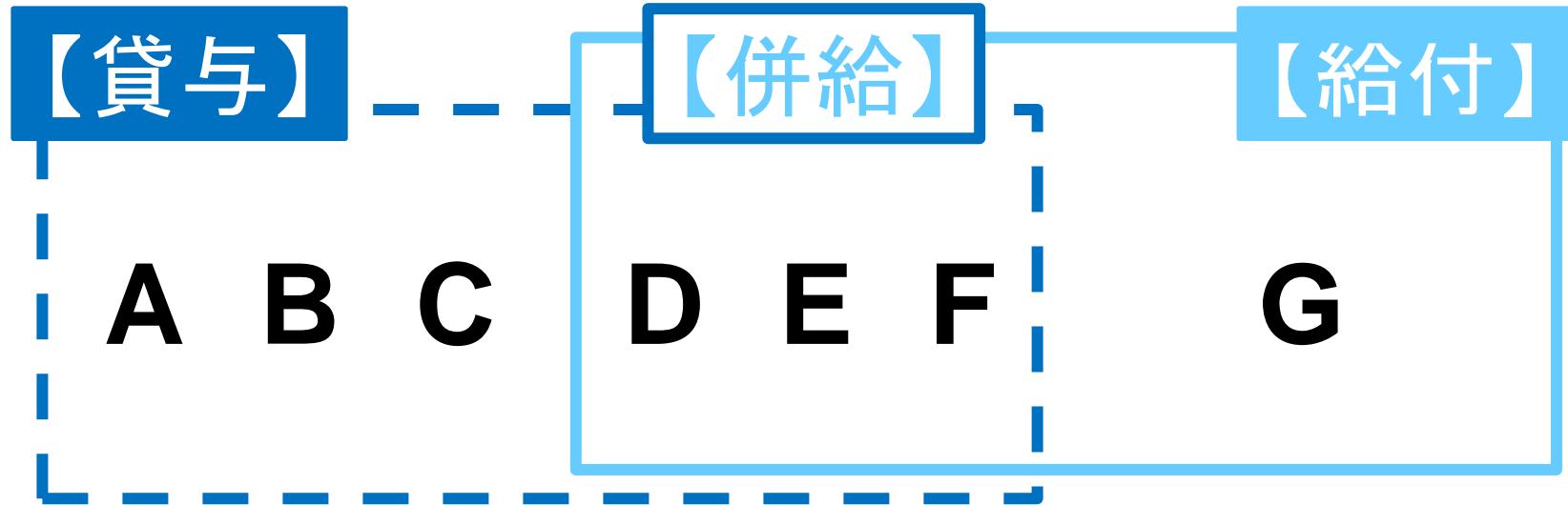
又は、児童養護施設等から通学する場合の給付奨
学金を併せて利用する場合は、扶助額を合算して

【対象者】
交付書類コード
A～G



・貸与奨学生用
・給付奨学生用
それぞれあります。

交付コードの見方



- 貸与奨学金・・・ABC
- 貸与・給付奨学金併給・・・DEF
- 紿付奨学金・・・G
- 入学時特別増額貸与奨学金採用候補者・・・BCEF

日本学生支援機構奨学金とは

日本学生支援機構(JASSO)の奨学金は、勉学に励む意欲と、それにふさわしい能力を持った学生にだけ、貸与(借りる)や給付(もらう)が可能になります。

- ✓ 貸与(借りる)型
 - 借りたお金は返す(**返還**)義務があります。
- ✓ 給付(もらう)型
 - 学業成績が著しく不振等の場合**返還義務が発生**します。
- ✓ 卒業まで自動的に貸与や受給ができる訳ではありません。
 - **継続的な手続きと審査**の必要があります。
- ✓ 奨学金の手続きをするのは、保護者ではありません。
 - **契約者は皆さん自身**です。
自覚したうえで、主体的に手続きを進めてください。

1.説明会への参加

説明会に参加し、進学後の手続きについて把握してください。

2.書類送付(学院→新入生)

進学届下書き準備用紙、進学届入力時に必要なID・パスワード、返信用封筒を郵送します。(4月13日発送)

3.書類返送(新入生→学院)

学院から郵送された書類に同封されている返信用封筒に、「採用候補者決定通知【進学先提出用】」を入れて学院に郵送してください。

4.進学届下書き準備用紙の記入

「予約採用マニュアル」を参照し、下書き準備用紙の記入をしてください。疑問点等あれば、学院奨学金担当者にお問い合わせください(オフィスアワー)。※オフィスアワーについては後述します。

5.進学届の入力 ※4月22日(木)23:00まで

期限までにスカラネットから進学届の入力をしてください。

採用後の流れ

5月14日(金)

初回振込日(予定)

5月下旬～6月上旬 採用者説明会(予定)

6月下旬 誓約書 他必要書類 提出(予定)

在籍報告 給付奨学生のみ(毎年 複数回)

継続手続説明会 → 適格認定 (毎年度)

現時点での予定です。

必要な手続きを行わない場合、貸与や給付が停止したり振込済みの金額の全額即時返還を求められる場合があります。

例年、採用者説明会を行っていますが、コロナウイルスの状況によりスケジュールが変更になる可能性があります。

適格認定の3つの要素

①人物

→生活全般を通じて態度・行動が貸与奨学生にふさわしく、奨学金の貸与には返還の義務があることを自覚し、かつ、将来良識ある社会人として活躍できる見込みがあること。

②学業

→修業年限で確実に卒業(修了)できるみこみがあること。

③経済状況

→修学を継続するために引き続き奨学金の貸与が必要と認められること。

適格認定の4つの認定区分

①廃止

→貸与奨学生の資格を失わせる。

②停止

→1年以内で在学学校長が定める期間、貸与奨学金の交付を停止する。

③警告

→貸与奨学金の交付を継続するが、学業成績が回復しない場合は、次回の適格認定期以降に貸与奨学金の交付を停止し又は貸与奨学金の資格を失わせることがあることを警告し指導する。

④継続

→貸与奨学金の交付を継続する。

【学院へ提出する書類】

全員提出	<ul style="list-style-type: none">・採用候補者決定通知【進学先提出用】
給付奨学金採用候補者(D・E・F・G)	<ul style="list-style-type: none">・授業料等減免の対象者の認定に関する申請書 ※採用者説明会実施時に配布する予定です。
該当者のみ	<p>【交付書類コードA・B・C・D・E・Fの方】</p> <p>保証制度で「人的保証」を選択した方で、保証人に65歳以上(例:祖父母等)または4親等以外の方(例:離別の父母等)を選任する場合、以下のいずれかの書類を提出ください。(採用候補者のしおりP10参照)</p> <ul style="list-style-type: none">・<u>収入金額320万円以上の源泉徴収票等</u>・<u>所得金額220万円以上の課税証明書等</u>・<u>貸与総額以上の預貯金残高証明書等</u> <p>【交付書類コードB・Eの方】</p> <p>入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合、以下の2点の書類を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none">・<u>日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を利用できなかったことについて(申告)</u>・<u>融資できない旨を記載した日本政策金融公庫発行の通知文のコピー</u> <p>【交付書類コードD・E・F・Gの方】</p> <p>自宅外通学の場合、以下の書類を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none">・<u>賃貸借契約書のコピー(家賃、契約日、契約期間、入居者(学生本人)が明記されているもの)</u>

【準備する書類】

- 採用候補者決定通知【本人保管用】
- 進学届下書き準備用紙（※4月13日学院から郵送）

採用候補者決定通知 選考結果の確認

この通知は、進学後、進学先の学校への提出が必要です。紛失しないよう大切に保管してください。

令和3年度大学等奨学生採用候補者決定通知 【進学先提出用】

登録番号	99999901-100-00999	
学年等	3年	10組
出席番号	A000001	
氏名	学校用 見本 (か ろくわ みの)	
100000001 #5000000		

文付書類コード=F
※ コードにより交付される書類が異なります。封筒の裏面にてご確認ください。

令和2年11月17日
独立行政法人日本学生支援機構

1. 選考結果

選考結果	給付奨学金	貸与奨学金	
		第一種奨学金	第二種奨学金
候補者決定 支援区分: 第I区分	候補者決定	候補者決定	候補者決定
	候補者決定	候補者決定	候補者決定

2. 選考結果の内訳

要件確認等	国籍・在留資格等	○	給付奨学金	貸与奨学金	
			第一種奨学金	第二種奨学金	
	家計に関する基準	○	○	○	
	学業成績・学修意欲に関する基準	○	○	○	
	高卒後の期間・高卒認定合格(見込)	○	○	○	
	必要な書類の提出	○	○	○	

注1 「○」は各要件・資格等に該当、「×」は非該当(必要書類未提出等の理由による判定不可を含む)、「—」は申込時に希望していない

注2 「必要書類の提出」の「必要書類」とは、マイナンバー、「奨学金確認書」、マイナンバーを提出できない場合の「所得証明書」等又は
国籍・在留資格に関する証明書(該当のみ)等です。

3. 採用候補者となった奨学金の内容

	給付奨学金	第一種奨学金 (無利子)	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
利用条件	支援区分: 第I区分◆ 社会的養護を必要とする人	最高月額利用: 可 猶予年限特例: 対象		日本政策金融公庫の「国教青ローン」の申込: 不要
申込時の選択内容	貸与額 ***** 返還方式 ***** 保証制度 ***** 利率の算定方法 *****	最高月額 ***** 所得連動返還方式 ***** 機関保証 ***** 利率見直し方式	月額120,000円 一時金500,000円	定額返還方式 人的保証 利率見直し方式

外通学)により定まります。なお、支援区分は、家計の状況により毎年度10月に見直されます。

注2 貸与奨学金に係る「申込時の選択内容」に記載の内容は、「進学届」の提出時に改めて選択し直すことができます(「進学届」の提出により内容が確定し、その後は変更できない)等の制限が発生することがあります。詳細は、「採用候補者のしおり」を確認してください。

注3 第一種奨学金の貸与額は、進学先の学校の学校別、設置者(国公私)及び通学形態(自宅通学・自宅外通学)により定まる額(「採用候補者のしおり」参照)の中から「進学届」にて選択します。ただし、第一種奨学金の「利用条件」欄に「最高月額利用: 不可」と印字されている場合、「最高月額」は利用できません(「最高月額以外の月額」からの選択となります)。また、給付奨学金を併せて利用する場合は、第一種奨学金の貸与額が制限されます。

(注意事項)

① 給付奨学金の支援区分に「◆」印がある人は生活保護世帯の自宅から通学する場合、又は、児童養護施設等から通学する場合の給付奨学金の月額は、月額(「採用候補者のしおり」参照)に記載の()内の金額となります。

② 本紙と併せて配付される「採用候補者のしおり」を必ず読んでください。

③ 裏面に記入のうえ、進学後すぐやかに進学先学校に提出し、進学先学校の定める期限内に手続きをしてください。

登録番号/学年/氏名

氏名に変更があった場合、学院奨学金担当者に申し出てください。

申請した奨学金の 選考結果

「候補者決定/不採用」
不採用理由は内訳に×があります。

奨学金に関する事項

利用条件

貸与額

返還方式

保証制度

利率の算定方法

変更可能
(条件あり)

貸与奨学金の保証制度は 二種類あります。

- ・機関保証制度
- ・人的保証制度

進学届入力時に変更可能

機関保証制度とは

保証機関に保証を依頼し、連帯保証を受ける制度

※一定の保証料が毎月の奨学金から引かれます。

※保証料（例）※「日本学生支援機構ホームページ」参照

【第一種】

月額50,000円→月額1,786円 振込額 48,214円

【第二種】

月額80,000円→月額4,320円 振込額 75,680円

人的保証制度とは

■貸与奨学生採用候補者のしおり P.10

連帯保証人/保証人が連帯保証をする制度

(参考) 連帯保証人・保証人の選任条件

連帯保証人【原則、父母】	保証人【原則、おじ・おば等】
【あなたが未成年者の場合】 あなたの親権者 又は 未成年後見人。	① 父母以外の人。 ② あなた及び連帯保証人と別生計の人。 ③ 連帯保証人の配偶者・婚約者でない人。 ④ 4親等以内の親族。 (※) ⑤ 進学届提出日時点で65歳未満の人。 (※)
【あなたが成年者の場合】 あなたの父母。 父母がいない等の場合は、4親等以内の親族。 (※)	
連帯保証人・保証人 共通の条件	① あなたの配偶者・婚約者は選任できません。 ② 未成年者・学生・債務整理中（破産等）の人は選任できません。 ③ 貸与終了時（貸与終了月の末日時点）にあなたが満45歳を超える場合は、その時点で60歳未満の人でなければ選任できません。

【進学後記入欄】

学籍番号			
学部・学科			
(フリガナ)			
氏名			
進学後の連絡先 (本人)	住所	〒	
	電話番号	— —	携帯番号

学籍番号

※説明会に参加した学生にスライドでお伝えします。

説明会に参加できなかった学生については個別に学院奨学金担当者にお問い合わせください。

理学療法学科学生…211から始まる5桁

作業療法学科学生…212から始まる5桁

1. 奨学金振込口座について (全員次の□にチェック)

採用候補者本人名義の普通預金（通常貯金）口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの□にチェック)

進学届にて「自宅通学」を選択します（入学月において自宅通学となるため）。

進学届にて「自宅外通学」を選択します（入学月において自宅外通学となるため）。

については、入学月において自宅外通学であることの証明書類を添えて本紙を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

（入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国への教育ローン」の申請と印字がある人は、次のどちらかの□にチェック）

入学時特別増額貸与奨学金を利用します。

については、本紙に次の2点の書類を添えて提出します。

① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」（本通知に同封の様式）

② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー

（印字がある場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します）

入学時特別増額貸与奨学金を辞退します（必要書類が調えられなかった場合を含む）。

(2) 保証制度（「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの□にチェック）

連帯保証人及び保証人を依頼

認し、連帯保証人及び保証人を

進学届の提出時に、保証制度
（印字がある場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します）

学部・学科

理学療法学科学生…理学療法学科

作業療法学科学生…作業療法学科

(フリガナ)/氏名進学後の連絡先

※授業開始日以降に居住する住所を記入

黒ボールペンで記入

きれいに正しく記入してください。

【進学後記入欄】

学籍番号			
学部・学科			
(フリガナ)			
氏名			
進学後の連絡先(本人)	住所	〒	
	電話番号	— —	携帯番号

1. 奨学金振込口座について（全員次の□にチェック）

採用候補者本人名義の普通預金（通常貯金）口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について（給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの□にチェック）

- 進学届にて「自宅通学」を選択します（入学月において自宅通学となるため）。
- 進学届にて「自宅外通学」を選択します（入学月において自宅外通学となるため）。
については、[入学月において自宅外通学であることの証明書類](#)を添えて本紙を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

（入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：必要と印字がある人は、[次のどちらかの□にチェック](#)）

- 入学時特別増額貸与奨学金を利用します。
については、本紙に[次の2点の書類](#)を添えて提出します。
 - ① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」（本通知に同封の様式）
 - ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー
(印字はがきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します。)
- 入学時特別増額貸与奨学金を辞退します（必要書類が調えられなかった場合を含む）。

(2) 保証制度（「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの□にチェック）

- 連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。
- 進学届の提出時に、保証制度を人の保証から機関保証に変更します（条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む）。

1. 奨学金振込口座について ✓を記入してください。

万が一、学生本人名義の口座が開設できていない方は
奨学金の振込ができません。

速やかに口座を開設してください！

信託銀行、農協、信用金庫、ネット銀行
(新生銀行、あおぞら銀行、セブン銀行)等
では取扱いできません。貯蓄貯金口座・長
期間使用していない休眠口座には振込で
きません。

【進学後記入欄】

学籍番号				
学部・学科				
(フリガナ)				
氏名				
進学後の連絡先 (本人)	住所	〒		
	電話番号	— —	携帯番号	— —

1. 奨学金振込口座について (全員次の□にチェック)

採用候補者本人名義の普通預金（通常貯金）口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの□にチェック)

- 進学届にて「自宅通学」を選択します（入学月において自宅通学となるため）。
- 進学届にて「自宅外通学」を選択します（入学月において自宅外通学となるため）。
については、入学月において自宅外通学であることの証明書類を添えて本紙を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

（入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：必要と印字がある人は、次のどちらかの□にチェック）

- 入学時特別増額貸与奨学金を利用します。
については、本紙に次の2点の書類を添えて提出します。
 - ① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」（本通知に同封の様式）
 - ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー
(印字はがきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します。)
- 入学時特別増額貸与奨学金を辞退します（必要書類が調えられなかった場合を含む）。

(2) 保証制度（「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの□にチェック）

- 連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。
- 進学届の提出時に、保証制度を人の保証から機関保証に変更します（条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む）。

給付奨学金採用候補者のみ

2. 給付奨学金について

「自宅通学」か「自宅外通学」のいずれかに✓を記入してください。

※書類送付した時は実家に居住している方も、授業開始後の通学形態で申告してください。

自宅外通学の場合は、
自宅外通学であることの証明書を提出していただきます。

予約採用説明会資料 P.8参照

入学時特別増額貸与奨学金の採用候補者で 日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：必要の方のみ

(フリガナ)			
氏名			
進学後の連絡先(本人)	住所	〒	
電話番号	— —	携帯番号	— —

1. 奨学金振込口座について（全員次の□にチェック）

採用候補者本人名義の普通預金（通常貯金）口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について（給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つにチェック）

進学届にて「自宅通学」を選択します（入学月において自宅通学となるため）。

進学届にて「自宅外通学」を選択します（入学月において自宅外通学となるため）。
については、入学月において自宅外通学であることの証明書類にて本紙を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

（入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：必要」と印字がある人は、次のどちらかの□にチェック）

入学時特別増額貸与奨学金を利用します。

については、本紙に次の2点の書類を添えて提出します。

- ① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」（本通知に同封の様式）
- ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー

（圧着はがきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します。）

入学時特別増額貸与奨学金を辞退します（必要書類が調えられなかった場合を含む）。

(2) 保証制度（「人的保証」を選択している奨学生がある人は、次のどちらかの□にチェック）

連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。

進学届の提出時に、保証制度を人の保証から機関保証に変更します（条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む）。

「利用します」または「辞退します」に✓を記入してください。

日本政策金融公庫の 「国の教育ローン」の申込 の記載を確認

3. 採用候補者となった奨学金の内容

	給付奨学金	第一種奨学金 (無利子)	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
利用条件	支援区分：第Ⅰ区分◆ 社会的養護を必要とする人	最高月額利用：可 猶予年限特例：対象		日本政策金融公庫の「 <u>国の教育ローン</u> 」の申込：必要
申込時の選択内容	貸与額 返還方式 保証制度 利率の算定方法	***** ***** ***** *****	最高月額 所得連動返還方式 機関保証 利率見直し方式	月額120,000円 定額返還方式 人の保証 利率見直し方式
				一時金500,000円 定額返還方式 人の保証 利率見直し方式

注1 給付奨学金の月額は「利用条件」欄に記載の「支援区分」、進学先の学校の学校種別、設置者（国公私）によります。なお、支援区分は、会計の状況により毎年1月1日に見直されます。

注2 貸与奨学金に係る「申込時の選択内容」に記載の内容は、「進学届」の提出時に改めて選択し直すことができます（「進学届」の提出により内容が確定し、その後は変更できない等の制限が発生することがあります）。詳細は、「採用候補者のしおり」を確認してください。

注3 第一種奨学金の貸与月額は、進学先の学校の学校種別、設置者（国公私）及び通学形態（自宅通学・自宅外通学）により定まる金額（「採用候補者のしおり」参照）の中から「進学届」にて選択します。ただし、第一種奨学金の「利用条件」欄に「最高月額利用：不可」と印字されている場合、「最高月額」は利用できません（「最高月額以外の月額」からの選択となります）。また、給付奨学金を併せて利用する場合は、第一種奨学金の貸与月額が制限されます。

(注意事項)

- ① 給付奨学金の支援区分に「◆」印がある人で生活保護世帯の自宅から通学する場合、又は、児童養護施設等から通学する場合の給付奨学金の月額は、月額額（「採用候補者のしおり」参照）に記載の（ ）内の金額となります。
- ② 本紙と併せて配付される「採用候補者のしおり」を必ず読んでください。
- ③ 裏面に記入のうえ、進学後すみやかに進学先学校に提出し、進学先学校の定める期限内に手続きをしてください。

『入学時特別増額貸与奨学金』欄で、
日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：**不要**の方は、
教育ローンの申込みに関する2点の書類は不要です。

入学時特別増額貸与奨学金を**希望する場合**は進学届提出の際に
「希望しますか」という設問で「はい」を選択してください。

入学時特別増額貸与奨学金を**辞退する方は**
進学届提出の際に**「希望しますか」という設問で
「いいえ」を選択**してください。

3. 採用候補者となった奨学生の内容

	給付奨学生	第一種奨学生 (無利子)	第二種奨学生 (有利子)	入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
利用条件	支援区分：第Ⅰ区分◆ 社会的養護を必要とする人	最高月額利用：可 猶予年限特例：対象		日本政策金融公庫「 国の教育ローン 」の申込： 不要
申込時の選択内容	貸与額 ***** 返還方式 ***** 保証制度 ***** 利率の算定方法 *****	最高月額 ***** 所得連動返還方式 ***** 機関保証 *****	月額120,000円 ***** 定額返還方式 ***** 人的保証 *****	一時金500,000円 ***** 定額返還方式 ***** 人的保証 *****
				利率見直し方 *****

注1 納付奨学生の月額は「利用条件」欄に記載の「支援区分」、進学先の学校の学校種別、設置者（国・公私）により定まります。なお、支援区分は、家計の状況により毎年度10月に見直されます。

注2 貸与奨学生に係る「申込時の選択内容」に記載の内容は、「進学届」の提出時に改めて選択し直すことができます（「進学届」の提出により内容が確定し、その後は変更できない等の制限が発生することがあります）。詳細は、「採用候補者のしおり」を確認してください。

注3 第一種奨学生の貸与月額は、進学先の学校の学校種別、設置者（国・公私）及び通学形態（自宅通学・自宅外通学）により定まる金額（「採用候補者のしおり」参照）の中から「進学届」にて選択します。ただし、第一種奨学生の「利用条件」欄に「最高月額利用：不可」と印字されている場合、「最高月額」は利用できません（「最高月額以外の月額」からの選択となります）。また、給付奨学生を併せて利用する場合は、第一種奨学生の貸与月額が制限されます。

(注意事項)

① 納付奨学生の支援区分に、「◆」印がある人で生活保護世帯の自宅から通学する場合、又は、児童養護施設等から通学する場合の給付奨学生の月額は、月額表（「採用候補者のしおり」参照）に記載の（ ）内の金額となります。

② 本紙と併せて配付される「採用候補者のしおり」を必ず読んでください。

③ 裏面に記入のうえ、進学後すみやかに進学先学校に提出し、進学先学校に定める期限内に手続きをしてください。

※ただし、つなぎ融資を受けている場合は、入学時特別増額貸与奨学金の辞退はできません。

■貸与奨学生候補者のしおりP.13参照

入学時特別増額貸与奨学金は

注意！

卒業後の返済利子は、第二種奨学金より
0.2%高い

本当に申込が必要かどうかを家族と相談し
検討の上、申込してください。

【進学後記入欄】

学籍番号			
学部・学科			
(フリガナ)			
氏名			
進学後の連絡先 (本人)	住所	〒	
	電話番号	— —	携帯番号

1. 奨学金振込口座について (全員次の□にチェック)

- 採用候補者本人名義の普通預金（通常貯金）口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの□にチェック)

- 進学届にて「自宅通学」を選択します（入学月において自宅通学となるため）。
 進学届にて「自宅外通学」を選択します（入学月において自宅外通学となるため）。
 については、入学月において自宅外通学であることの証明書類を添えて本紙を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

（入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国への教育ローン」の申込：必要と印字がある人は、次のどちらかの□にチェック）

- 入学時特別増額貸与奨学金を利用します。
 については、本紙に次の2点の書類を添えて提出します。
 ① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」（本通知に同封の様式）
 ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー
 （印字がされている場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します。）
 入学時特別増額貸与奨学金を辞退します（必要書類が調えられなかった場合を含む）。

(2) 保証制度 (「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの□にチェック)

- 連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。
 進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します（条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む）。

貸与奨学金採用候補者で
保証人制度を人的保証と
選択した学生のみ

3.(2) 保証制度について

・連帯保証人と保証人には
事前に承諾を得ている

・機関保証に変更したい

いずれかに□に✓を記入してください。

■給付奨学金採用候補者のしおりP.8 参照

給付奨学金の採用候補者が、通学形態「自宅外通学」を選択する場合、自宅外通学を証明する書類の提出が必要です。

* 親と別居している、賃料が発生していることがわかる書類

例)アパートの賃貸借契約書のコピー

掲載必須事項: 学生氏名、賃料、契約日、居住者

「自宅外通学」の要件

- ・父の単身赴任先に同居している場合は自宅通学になる
- ・実家から学校までの距離が片道60キロ以上
- ・実家から学校までの通学時間が片道120分以上
- ・実家から学校までの通学費が月1万円以上 など

通学距離や通学時間等、要件に含まれない場合は自宅扱いとなります。

進学届入力下書き用紙の記入

【全員共通】

大学・短期大学・専修学校専門課程用

2021年度入学者用
進学届入力下書き用紙

独立行政法人
日本学生支援機構
Japan Student Services Organization

進学後、早急に進学届の手続きを行ってください。
進学先の学校が定める進学届提出期限を過ぎた場合、進学届提出による給付・貸与を受けられなくなります。

※給付奨学金については、国又は地方公共団体から給付奨学金の対象となることの認定を受けた学校に進学した場合のみ支給を受けることができます。進学した学校が給付奨学金の対象校でない場合、給付奨学金の支給を受けることができません。

参考>給付奨学金対象校については「給付奨学生採用候補者のしおり」3ページ
貸与奨学金対象校については「貸与奨学生採用候補者のしおり」3ページ

※給付奨学金の採用候補者は、「自宅外通学」を選択する場合でも自宅通学の支給月額からの振込みとなります(6ページ参照)。

※進学後、進学先の学校が実施する説明会等には必ず出席し、入力にあたって不明な点などがあれば進学先の学校に確認してください。また、日本学生支援機構のホームページに「よくある質問」などの情報を掲載していますので参考にしてください。

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。

令和3年度大学等奨学生採用候補者決定通知 【本人保管用】

令和2年11月17日

登録番号	99999901-100-00999
学年等	3年 10組
出席番号	A000001
氏名	学校用見本様 (ガ クウヨウミン)

独立行政法人
日本学生支援機構



進学届提出用パスワードは 決定通知【本人保管用】を見て入力

進学届の提出にあたって

進学届下書き用紙及び
ユーザーID・パスワードは
4月13日に学院から郵送します

○、届け出字並び併せて申し込む場合は、「自宅外通学」を選択する場合でも、当初は自宅通学の文結部が振り込まれます。自宅外月額の振込みは、「自宅外通学」であるとの証明書類を提出し、不備なく審査終了した後となります。

下表に、ユーザーIDとパスワードを記入して進学届提出用パスワードを正確に記入してください。

氏名	学籍番号
ユーザーID	パスワード
進学届提出用パスワード	

ユーザーIDとパスワードは、進学の学校に確認してください。

※進学届提出用パスワードは、採用候補者決定通知【本人保管用】に印字されています。

1

2. 選考結果の内訳

	給付奨学金	貸与奨学金	
		第一種奨学金	第二種奨学金
国籍・在留資格等	○	○	○
家計に関する基準	○	○	○
要件確認等			
学業成績・学修意欲に関する基準	○	○	○
高卒後の期間・高卒認定合格(見込)	○	○	○
必要書類の提出	○	○	○

注1 「○」は各要件・資格等が該当、「×」は該当しないことを意味します。
注2 「必要書類の提出」は、マイナンバー、「奨学金認証書」、マイナンバーを提出できない場合の「所得証明書」等又は資格・在留資格に固むる證明書(該当者のみ)等です。

3. 採用候補者となった奨学金の内容

利用条件	給付奨学金	第一種奨学金 (無利子)	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
貸与額	*****	最高月額	月額120,000円	一時金500,000円
返還方式	*****	所得連動返還方式	定額返還方式	定額返還方式
保証体制	*****	機関保証	人の保証	人の保証
利回り設定法	*****	利率見直し方式	利率見直し方式	利率見直し方式

注1 給付奨学金の月額は「利用条件」欄に記載の「支給区分」、進学の学校の「学校別別」、就讀者の「国公私」及び「学年別」(自宅通学・自宅外通学)により定まります。また、給付奨学金の「支給区分」に「◆」印がある人は生徒就業世帯の自立から就業する場合の給付奨学金の月額は、月額は、「採用候補者のしおり」参照)に記載の()内の金額になります。なお、支給区分は、家の状況により毎年度10月に見直されます。

注2 貸与奨学金の「申込時の選択内容」に記載の内容は、「進学届」の提出時に改めて選択し直すことができます(「進学届」の提出により内容が確定し、その時は変更できない等の制限が発生することがあります)。詳細は、「採用候補者のしおり」を確認してください。

注3 第一種特待金の貸与月額は、進学の学校の「学校別別」、就讀者の「国公私」及び「学年別」(自宅通学・自宅外通学)により定められ、月額()にて選択します。ただし、第一種特待金の「利用条件」欄で「最高月額利用:不可」と記載されている場合は、「最高月額」は利用できません。(最高月額以外の月額)からの選択となります。

進学届提出用パスワード (半角英数字10桁) ABCDE98765
注:「進学届提出用パスワード」は、進学後、進学届の提出(インターネットで提出)の際に必要になりますので、本通知を紛失しないよう気を付けてください。(紛失した場合は、選考料の支払開始が大幅に遅れます)。
参考の参考手順については、該当の「参考手順」を参照してください。

※進学届入力下書き用紙の
記入注意事項は、「予約採用
マニュアル」を参照してください。

入力する前に準備する書類を確認してください。

【進学届提出マニュアル】

手順1 下表の書類を用意してください。給付奨学生の採用候補者は「給付奨学生採用候補者のしおり」11ページ、また、貸与奨学生の採用候補者は「貸与奨学生採用候補者のしおり」14ページも併せて確認してください。

(用意する書類)

- ・採用候補者決定通知
- ・進学前準備チェックシート
- ・本人通帳のコピー（本冊子24ページに貼付）
- ・在留資格等の証明書類（対象者のみ）
- ・自宅外通学であることの証明書類（対象者のみ）
- ・学生本人の「住民票」（申込時にマイナンバーを提出していない場合のみ）
- ・（機関保証の場合）本人以外の連絡先がわかるもの
- ・（人的保証の場合）連帯保証人の印鑑登録証明書
- ・（人的保証の場合）連帯保証人の収入に関する証明書類
- ・（人的保証の場合）保証人の印鑑登録証明書
- ・（人的保証の場合で例外に該当する方を選任する場合）選任する方の資産等に関する証明書類

（注）「採用候補者決定通知【進学先提出用】【本人保管用】」の「2. 採用候補者となった奨学生の内容について」において「入学時特別増額貸与奨学生（有利子）」の利用条件に「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：必要」と印字されている人で、入学時特別増額貸与奨学生の貸与を希望する場合は、所定の申告書類（2点）も用意してください。「貸与奨学生採用候補者のしおり」12～14 ページを参照してください。

注）氏名・住所・電話番号・生年月日等の内容は、入力を間違えると、採用後の訂正に大変手間がかかりますので、気を付けてください。

○奨学金申請中の連絡について

提出書類の不備不足や書類の内容確認が必要な場合、連絡することがあります。

※[0854-54-0001]の電話番号は学院からの着信です。

○オフィスアワーについて

臨時休校中の間、奨学金手続きについての疑問点などの対応をオンラインで行います。オフィスアワー期間中はミーティングルームを開放していますので、お気軽にお問い合わせください。

- ・ZOOMによるweb対応(参加URLは説明会時のURLと同じ)
- ・4月13日(火)～4月19日(月)9:00～16:00 ※土日除く
※15日(木)10:30～12:00、19日(月)13:00～15:00は会議の為対応不可

※奨学金担当は2名(井上・平井)と少数で行っている関係で、多少待ち時間を頂く場合がありますがご了承ください。

【再掲】島根リハビリテーション学院における 手続きの流れ

1.説明会への参加

説明会に参加し、進学後の手続きについて把握してください。

2.書類送付(学院→新入生)

進学届下書き準備用紙、進学届入力時に必要なID・パスワード、返信用封筒を郵送します。(4月13日発送)

3.書類返送(新入生→学院)

学院から郵送された書類に同封されている返信用封筒に、「採用候補者決定通知【進学先提出用】」を入れて学院に郵送してください。

4.進学届下書き準備用紙の記入

「予約採用マニュアル」を参照し、下書き準備用紙の記入をしてください。疑問点等あれば、学院奨学金担当者にお問い合わせください(オフィスアワー)。

5.進学届の入力 ※4月22日(木)23:00まで

期限までにスカラネットから進学届の入力をしてください。